

2021年7月27日

## RIC コミュニティ ライブラリー 評議委員会 7 月度 議事録

日時:2021(令和3)年7月15日(木)14時~15時45分

場所:会議室ⅢAB

出席者(名簿順):

六甲アイランド CITY 自治会(2名)

向洋ふれあいのまちづくり協議会(1名)

六甲アイランドふれあいのまちづくり協議会(1名)

六甲アイランドまちづくり協議会(1名)

青少年育成協議会向洋支部(1名)

神戸市立東灘図書館(1名)

RIC コミュニティライブラリー ボランティアスタッフ(2名)

RIC ボランティアスタッフ「ライブラリーのこれからを考える会」(3名)

### 1.開会 出席者自己紹介

御影南婦人会向洋支部に委員会への出席を依頼、1名を招聘した。次回9月評議委員会より評議委員として出席をお願いし、出席委員の賛同を得る。当事項は、前回評議委員会にて委員より提案されたことを受けたもの。

### 2.報告と協議

- ① 4月度評議委員会議事録をHPへ掲載の旨、報告した。
- ② 計算間違いにより、丸善ジュンク堂装備費を実際より ¥40/冊 高く報告していた。  
1冊¥150に訂正して報告。
- ③ 緊急事態宣言を受けての対応、及び感染対策について報告
  - ア) 4月25日(日)第3回緊急事態宣言発出により、4/25~6/20まで休館。5、6月度評議委員会も中止とした。
  - イ) 5月30日、ボランティアスタッフで臨時ミーティングを行い、多数決によって6/20まで引き続き休館することを決定した。しかしこの期間中、新着図書の受け入れ作業等、開館準備作業を週2回午後のみ当番4名で行うこととした。
  - ウ) 6月20日の宣言解除を受け、6月21日(月)にボランティアスタッフで清掃、消毒作業、ミーティングを行う
  - エ) 6月22(火)、開館。これまでどおりの対策に加え、窓を開け、換気を強化した。  
利用者からは温かいお声かけをいただいた。

④ 業務委員会報告

2021年4・5・6月の利用状況(2020年同月との比較含む)を報告。

2020年度の一般、児童の利用一覧表 報告。

- ・ 4月評議委員会で提案された統計を作成、その結果、健闘しているのは洋書児童であり、児童和書もよく利用されていることが報告された。
- ・ 委員より、4、5月実績ゼロの月の理由が分かるように、「緊急事態宣言により休館」の但し書きを加えるようアドバイスがあった。

選書報告 7/19(月)現地選書 丸善ジュンク堂三ノ宮駅前店 7名参加予定

⑤ タやけ文庫報告

おはなし会、自治会のHPでも開催案内をすることが、提案された。

⑥ 自由議題

- ・ 委員より、自治会総代会でライブラリーについて議論があり、関心が高まっていることが提議されたのち、以下の内容が話されて、情報共有された。
- ・ 現在の、図書館としての正しい在り方を東灘図書館長に伺う。まず、東灘図書館の来館平均は約2500人/1日で神戸市トップ。利用者は地元住民が9割。次に東灘図書館としての方針はすなわち中央図書館のそれであり、しかしそれは時代によって変化していることが情報共有された。すなわち、これまでは貸出中心だったが、現在は、地元の人に図書館に来てもらい、自身の生活における問題解決(子どもの機嫌が悪いときに本を読んであげ、その本を借りていくなど)に寄与することが新たな使命となっている。これにより東灘図書館では利用者の滞在時間も重視するようになっている。
- ・ これに対してボランティアスタッフから、RICライブラリーの方針は設立当初より「人と人が出会う場、人と本が出合う場」を創ることで変化はしていないとの発言があり、委員からは、今後ライブラリーの存続を考えていくなれば、全国の図書館に共通の指標や実績などをフォローする必要があるのではないかとの意見があった。
- ・ ライブラリーの永続を考えるなら15年計画を立てる必要がある。ライブラリーの「今後を考える会」の皆さんと評議委員会の有志を中心に、計画と具体的な動きを考えていく必要がある。
- ・ ライブラリー設立には当時の自治会長が深くかかわったものの、現在のところ、ライブラリーについての自治会役員会での評価は厳しいものになっている。その反面で市民図書室としてのライブラリーは、一日に約80人の利用者があり、これは神戸市の市民図書室としては、群を抜く数字である。
- ・ 選書について東灘図書館長からは、客観的に見て選書に偏りはないとして、以下の高評価をいただいた。「全国紙の書評を見ただけで、利用者の傾向を詳細に考えて選んでいることは間違っていない。硬い選書である。統計を見ても偏りが無い。構成比を見ても趣味で選んでいないことは、貸し出しも平均的で万遍なことが

統計にあらわれている」。

- ・ ライブラリーを永続させていくための模索は、評議委員会でやる。評議委員会に議題として挙げ、目に見える形で活動していくこととした。
- ・ 統計項目について。ライブラリーでは、「外国人」という利用者枠があるが、多様性が謳われる昨今では、これまでと違ってひとめで外国人だとはわからない人が増えたとし、日本人とは異なる風貌でも、日本人として生活している人もいる。カウンターで利用者を外国人か日本人かで仕分けすることに意味が感じられないし、差別をしている印象を利用者に与える危険性があるという意見に対し、六甲アイランド基金からの助成は「国際交流」の枠組みでいただいていることもあって、今後も六甲アイランド基金には、外国人がどれぐらい利用していて、外国語の図書がどれぐらい借り出されているかを報告する必要があることを情報共有した。これを鑑み、カウンター業務においては外国人枠を廃止するが、統計だけは取ることとした。
- ・ 1F、2Fの案内板リニューアルのため、レイアウト見本を作成。これはアンケート調査で出されたライブラリーの案内が分かりにくいとの声に応えたものである。レイアウトは、1F、2F 同じほうが良いとの意見をもらった。
- ・ 「きょうどうのわ/団体結び 報告会」参加、報告
- ・ 「ライブラリー通信」のレイアウトを変える旨の提案が評議委員よりあった。

### 3.島内情報交換

4.閉会：次回評議委員会は 9月16日(木)14:00 から